



## 子供に教えられて

校長 市川 典秀

毎朝の日課として、校区を歩いています。すれ違う子供たちの爽やかな挨拶に元気をもらっています。先日こんなことがありました。

前から黄色い帽子を被った一年生の男の子がやって来ました。自分が歩きながら「おはよう。」と声を掛けると、この一年生は立ち止まり「おはようございます。」と言いながら頭を下げてくださいました。こちらもあわてて立ち止まり、「おはようございます。」と言い直しました。一年生に挨拶の方法を教えてもらった気分になりました。

また、校区にお住いの他校の校長先生が、会合で会ったときにうれしそうにお話してくださいました。「冬休みに家内と近所を散歩していたときに、サッカーボールを抱えた男の子に、とっても元気よく『こんにちは。』という挨拶をしてもらいました。うれしくなりました。田子浦小学校はいい学校ですね。」二つの出来事を校内放送で子供たちに伝えたところ、次の日から、挨拶とともに頭を下げ会釈をしてくれる子供が多くなりました。改めて挨拶の大切さを感じ、日頃の御家庭での子供たちへの声掛けを想像し、田子浦地区が持っている家庭の力を再確認しました。

また、朝、校区では民生児童委員の方や地域のボランティアの方が、子供たちのことを見守ってくださっています。本当にありがたく思っています。



本校3階からの富士山

## 令和7年度 重点目標

## やってみよう

子供たちへのアンケートによると、「学校の目標『じぶんから』『やってみよう』に向けて何かに取り組んでいる」という項目に対して、「そう思う」という肯定的な回答をした子供は、前期は87.5%、後期は85.1%でした。後期に向け少し落ちたとはいえ、高い数値を示しています。今年は、高学年の委員会活動で「やってみよう」の思いを感じることが多かったように思います。ミュージック委員会の「クリスマスフェス」、保健委員会の「心を元気にするイベント」、ワールドギネス委員会の「ペットボトル立てのゲーム」、体育委員会の「縄跳び」など、こんなことをやってみようという思いが随所に見られました。

これからも、子供たちに「やってみよう」の気持ちが育まれていくように支援を続けていきたいと思えます。

### 授業参観ありがとうございました。

1月22日に授業参観を行いました。たくさんの保護者の方にお越しいただき、ありがとうございました。お子さんの学校での様子をご覧いただくことができたでしょうか。家での様子とは違った姿を見せたお子さんもしかかもしれません。その姿を見ていただくのも学校と家庭で連携するためには大切なことだと考えています。

4年生は10歳を迎える会を行い、誕生してからこれまでを振り返り、喜びを感じることができたのではないかと思います。



クリスマスフェス

1月号の学校だよりでお知らせしたSSSの募集ですが、地域の方に無事お願いすることができました。御協力ありがとうございました。